



## 市街地区で町政懇談会を開催しました

10月4日に小・中学生、高校生の保護者を対象に、また、10月6日には町民のみなさんすべてを対象とした町政懇談会を開催し、たくさんのご意見、ご要望を伺いました。今月号では、参加していただいたみなさんの意見、要望の一部をご紹介します。

### 保護者向け町政懇談会

◆印は参加者の発言内容▼は町長はじめ、町の発言内容です。掲載の都合から、発言の内容は一部抜粋し掲載しています。

町からは、町長をはじめ教育長、教育関係課長が出席し、はじめに、「早寝・早起き・朝ごはん運動について」「コミュニケーション・スクールについて」の話題提供をした後、参加者とのフリートークを行いました。

◆去年、羽幌中学校から羽幌高校に来る子ども達が少なくなりまして、1間口になるのではないかと心配が私も子どももあつたんですが、なんとか2間口をキープすることが出来ました。ただ、羽幌中学校から上を目指す子は、札幌や旭川、留萌等（の高校）に行きたいという子がたくさんいて、今はまだなんとか2間口維持できていますが、いつかはまた、1間口になるのではないかと、羽幌高校が無くなってしまふのではないかと心配があり、その時になつて動いても遅いんじゃないかなという心配があります。羽幌高校に来たいと思わせるには、羽幌高校の学力が上がって、例えば、毎年羽幌高校から北大に

行く生徒がいるとか、早稲田慶應だとか、しいては東大に行く子が出るということになれば、全道から子どもが集まるのではないかなと思います。そのため、予備校の偉い先生を連れて来たり、また、それと同時に、羽幌高校からストリートで医大に入った場合、独自の奨学金などで、ストリートで受かったら全額町でもちます。卒業したら羽幌の道立病院に来てください」という約束の元、出来ないのかなと思つています。



もう一つのお願ですが、特に中学・高校の部活動の先生方が朝は早く学校に来て、夜は8時、9時というところがしょっちゅうで、それで、土日も休みがなくて、いつか爆発するのではないかと。今、全国的に

でも、もつと町民が意見を向けるような形を何か考えて、強制的に来さずのはどうかとは思いますが、このままこの形で進んでしまふと何も組織が動かない、形状ただ作つたというだけで終わつてしまふ。それでいいのかどうか。私は極端な言い方をしたらこの立ち上げが30年というのを少し先延ばししてでも、もつと町民の方の理解が欲しい気持ちは個人的にはありますがどうなんでしょうか。

▼今日の説明は、保護者が集まればこういう機会に話もして理解というか周知を広めようという狙いで話させていた。だましました。コミュニケーション・スクールについては、説明会を保護者を集めてやつていく予定であります。これはお願いですけども、PTAだとかそういう組織が積極的に関わっていただきたいというふうに思つています。今日の話もできれば、PTAの会合ですとか、そういう所で出来れば一番いいのかなというふうに思つています。

▼もう少し工夫をして呼びかけをしていかないと、この（資料の中）中には地域のみなさんと書いてあるので、学校と保護者だけではないようなので、そういう部分では広く案内をする、そういう部分の声をもう少し工夫しなかつたら前には全然進

まないことは確かです。その辺、学校ともまたPTAの役員とも協力しながら町側も教育委員会としてもどういう方向がいいのか、方法がいいのか、もう一回見直さないとだめな部分かなと感じております。

### 市街地区町政懇談会

町からは、町長をはじめ各課長が出席し、はじめに、「コミュニケーション・スクールについて」の話題提供をした後、参加者とのフリートークを行いました。

◆お歳を召した方が、車を運転できなくなつて歩かなくてはならなくて、歩け歩けとも言われる。だるうし、歩いていると町の中で休むところがない。軒先もベンチが置いていないからそういうのが、あつたらいいんじゃないかなつて。

▼場所だとか、ベンチということになると予算もかかるので来年すぐできるものではないかと思ひますが担当課と協議します。

◆費用がかかるのでしょうか。▼そんなに掛かるという考えは持つていませんが、「どこでもいい」ということにはならないし、歩道の上といつても危ないところもあります。

◆お店の軒先にあつても構わないと思つのですが、その方の了解を得て。そういう取組で

ラック部活動と言われているんですけれど、経験の浅い若い先生ばかりなんです。若い先生は一生懸命やっているんですけど、過労死ラインでやっているというのが目に見えて分かるんです。そんな中で、生徒が困つていて、声を掛けられるのかなと思うんです。例えば教育委員会で、羽幌町が全国に先立って、第1第3日曜日は休みにしますとか、土曜日は休みにしますとか、そういうのをやってもいいのではないかと思つています。

それと、小学校の運動会の喫煙について、うちの息子が小学校の時にPTAで話が出て、苦前や初山別、遠別、天塩まで聞いたら、「分煙ではなく全て禁煙です」ということでした。札幌はどうなんだろうかと確認したら、運動会の際は禁煙と禁酒もやっていますということで、分煙ではなく禁煙でいきましょうと禁煙にしました。それが、今年見に行つたら、喫煙所が設けられていて、それはすぐやめてもらいたいと思ひました。ただ、当時のPTA会長に話を聞いたら、「禁煙にした時に隠れて吸つたりとか、バックネット裏に吸い殻も落ちていて、仕方な

もいいのではないかなと。▼お店の人の協力もあると、雨の日は引つ込めてくれるということもありますから。

◆ロータスセレモニーから役場に向かつて力エデの木が何年か前に植えられています。植えてから一回も剪定されていないと思ひますので、枝を切つた方がいいのではないかなと。せつかく植えたのですから緑が多くなるように。6条通りから体育館の空き地ですが、今後、羽幌町として何か考えていらつしゃいますか。冬は雪祭り使つてますが、何か提案があつたら聞きたいと。

▼体育館も大体20年くらい経つのですけれども、冬は除雪の雪を捨てていてそれを利用してウインターフェスティバルをしています。また、6月の甘エビまつりの駐車場が足りないような



く分煙に苦肉の策でしたんだということでした。出来ることであれば、今、国の方でも禁煙を進めてはいるんですけども、羽幌町がニユースになるぐらいの感じで、町全部の飲食店を子どものために禁煙にするぐらいのことをやってもいいんじゃないかなと。



▼奨学金のことについては、いい案だと思います。ただ、なかなか難しい部分がお金以外であると思ひます。一度考えたことはありますが、なかなかそこからは前に進めないのが現状で、高校の魅力化の中では、そういう部分も検討した経緯があります。今後も可能であれば実現に向けて検討はしていきたいと考えています。部活動の部分ですが、これは、中学校では月曜日を去年、一昨年から、制度的に（部

状況で、個人の乗用車だけではなくて大型バスもたくさん来ておりますから、あの辺り帯を全部、駐車場代わりに使つていこうという状況もございます。体育館の横は砂利になつてはいるのですが、それでも、そのままだが管理上は安くていいのではないかなと思つておりますのでご理解をいただければと思つております。

◆最近パークゴルフに行つていのですが、（望潮コースの）協力金ですか？私は真面目に入れているのですが、入れている方をあまり見たことないので、どのくらいのお金が入っていますか。あまりにも綺麗になつていて、すごく経費をかけていると思ひますので。

▼パークゴルフをする人が少しでも負担するのが当然でしょうという考え方にたつてですね。当初は集まっていたのですけれども、最近は少ないのではないかなと思つております。

▼資料がないので正確な数字は分からないのですが、ここ数年は年間20万円前後が協力金として入つています。教育委員会としては協力いただいているとは思つています。

◆町外からバスで来ている方が結構います。綺麗ですねと言われると住民としてうれしく思ひ

ます。ですからお金がたくさん入っていただければいいなと思って。▼(池・桜コースは)全道に無いユニークなコースかなと思っておりま。また、愛好会の方に常時手入れ等を手伝っていただいておりますので、みなさんにも楽しんでいただければと思っております。

◆ほっと号のアンケートを取りまとめ中です。アンケートの結果、担当課の方で分析すると思。今年、副町長が老人クラブの総会に来て会員が、苦前のタクシーについて副町長に意見を聞いたのですが、予算の関係で難しいというお答えでした。苦前の方ではすごい人気で重宝されております。うちの老人クラブの方も、福祉バスをまわしてもらっているのですが、苦前の人から、すごくいいと聞いておりますので、ぜひ羽幌の方でも行っていただきたい。ご検討願えないかと。老人クラブの意見です。予算査定前でございます。



▼苦前のタクシーのケースは政策的に進められているものもありません。羽幌町の場合になりますと、一方でほっと号も走っていますし、福祉バスも老人クラブさんのリクエストでかなり便数、たとえ、リクエストに応えられるような体制も作っていますので、それに加えてタクシーのデマンド方式でやるとなると費用等の部分を含めると、かなりきついものがあるのかなと思っております。いずれにしても、もう一回、検討させていただきます。

◆9月末の留萌新聞に出ておりました特定健診の関係。目標の50パーセントまでの到達はかなり難しいと書いておりました。中を読んでいきますと、分母となる40から74歳までの対象者が1,500人です。それが分母となるのですが、それに対して実際に受診している方というのは420人くらいです。それはいくと28パーセント。私たちの仲間は病院に入って定期的に色々なことをトータルで健診。町より、専門にやっているのです。そういう方が分母の1,500人の中に当然入っているのです。その人にどうして行かないのと聞いたら、俺は病院に入っているから、町の健診に行かなくても、プロの診察を受けていると言っています。そういう

方に来てもらうと受診率は上がると思。そういう人を分母からはずすというやり方というのは難しいのでしょうか。

▼国保に加入している人で40歳から74歳の方が対象になっている者を指すのですが、その中で病院に通っているから健診に行かないと。病院に行つて例えば血液検査をしているとか、尿検査をしているとかというものは病院に情報があるので、それを、健診を受けたという形に変えることができます。情報をいただくことによって。それを一昨年からは始めていますけれども、今年には道立羽幌病院、加藤病院とも、今の段階で未受診の人を特に力を入れて、情報提供をしていた、ただけるようにお医者さんにも協力していただき、やつてるところです。分母からはずすということ、決まっているルールがあるので羽幌町だけ勝手にはずすということはできないので、分母は分母で健診に来ない人達を、病院に行つていないのであれば病院に行つていない情報を提供していただきたいということをお願いして増やしていきたいと思っております。

◆特定健診の受診率が低いとペナルティーというのがあったと思いますが、30年から道へ移管されて、そのペナルティーが交付金か何かが減額になるとい

ペナルティーなのでしょか。

▼正確なことは言えないのですが、特定健診の制度が始まったときには、受診率に満たない場合に交付金が減額になるというのありました。その制度自体は残っているのですが、多分入っていると思うのですが、来年度から改革の関係で制度改正になりま。その中ではその辺がうたわれないので、実際に減額になるのかどうかは、はっきりしていません。今のところ、減額になっていない部分は、もちろんありませんし、来年からすぐに受診率が低いせいで減額になるというのは、今のところはいいのではないかと。正確に調べてみないとはいっきりとしたことは言えません。

◆福寿川の橋、北側の6条に向かって福寿川の川沿いの手すりですか、傾いているのです。通るたびに気になっていきます。除雪で押されてあのようになると思うのですが、あまりにもみっともないと思。▼傾いて折れたものについては、温泉と向かい側は外してあります。まだ、他に危ないのがあります。ましたら整理させます。

◆島の観光について、今年度の入込はいかがなものですか。例年に比べて。

▼離島の観光につきましては、6月、7月の週末の悪天候が響いたという状況は何っておりま。集計ができた時には新聞あるいは町広報等を通じ、機会をとらえまして皆さまにご報告させていただきます。

◆留萌振興局で一冊の本にした「西蝦夷」は「路旅」あれは素晴らしいです。オロロンライン全部載っていますから。

▼「西蝦夷」がすごい人気でございます。ほかの人に見せても、「こういう形で旅行ガイドが出来るのだ」とびっくりされています。「素晴らしいね」と、その人もそういう言い方をしています。



↓お問い合わせ

地域振興課広報聴係  
☎68-7013(課直通)